

※氷ノ山（標高 1510 メートル）



養父市議会議員長 吉井 稔

理想のふるさと養父市に

新年あけましておめでとうございます。新年を希望を持ってお元気で迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。養父市議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

兵庫県下第1号の合併として養父市が誕生して1年10カ月。県下で88あった自治体は29市12町となり、以前の50%以下になりました。但馬においても、昨年までに1市18町の自治体が3市2町に統合されました。

そんな中、養父市は一昨年の台風23号による大災害、佐々木憲二初代市長の急逝に加えて行財政改革と、苦しみと悲しみの試練の年でした。

しかし、「危機こそチャンスだ」と一体感が生まれ、梅谷市長のもとで国・県のご協力、多くのみなさんのご支援とご協力により災害復旧についてはめどがつき、困難を克服することができました。

昨年、行政改革推進委員会の答申

を受け、それに基づく行政改革大綱の内容と、まちづくりの指針となる養父市総合計画の理念が平成18年度の予算に組み込まれ、実質的な改革初年度となります。

市民の皆様のご理解とご協力で市政運営がされますが、これまで通りの行政手法は通用しません。合併してまちは大きくなりましたが、全ての事業や補助金などの見直しを求められています。参画と協働によって、予算、事業、職員数など小さい自治体で、これまでのサービスを低下させない方策でのまちづくりが求められています。

養父市には「まるごと自然」という財産があります。これを生かして、都市にはない「人と自然の共生」を進めなければなりません。養父市を代表する氷ノ山や天滝、妙見三重の塔、須留ヶ峰、そして温泉施設などの多くの魅力を活用し、訪れた方たちの心身を癒す努力により、一人でも多くのリピーターをつくることのできるのではないのでしょうか。

養父市の良いものを生かして「よりよい未来のあるまち」、「若者が夢や希望を持てるまち」、「自信と誇りの持てるまち」を実現し、「理想のふるさと養父市」に向けて英知を結集しましょう。

市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしました。新年のごあいさつとさせていただきます。